

つながる ひろがる おりなす
アートには地域の未来を変える力があります

ARTS MEET OKITAMA 2025 応募〆切は 1 月 15 日

たくさんの
ご応募をお待ちしています！



AMO2025
応募フォーム

AMO2025 スケジュール

出品申込締切 令和 7 年 1 月 15 日 (水) 【厳守】

出品票締切 2 月 12 日 (水)

展 示 3 月 8 日 (土) ～ 18 日 (火)

授賞式 3 月 20 日 (木・祝)

テーマ部門 「^{そら}宙」 ※出品確認票、ショップ確認票は、1 月 15 日の
締切後、出品申込された方に送付致します。

ARTS MEET OKITAMA だより冬号 VOL.9 202412

よねざわ市民ギャラリーと「ARTS MEET OKITAMA」
の情報をお届けします。



昨年の AMO2023 大賞展での公開制作の様子

「ARTS MEET OKITAMA2025」会期中は、「つくる人」と「みる人」を
つなぐイベントも開催致します。展示・関連事業を通じて多くの方に足を
運んでいただき、さまざまな出会いの場となれればと考えております。

置賜文化フォーラム事業

若手アーティストによるワークショップ

日時：令和 7 年 3 月 16 日 (日) 13:30 ～ 14:30 (予定)
場所：ナセ BA 体験学習室
講師：石井かおり氏 (AMO2024 若手アーティスト奨励賞受賞者)

「あなただけの小さな世界を作ろう！
～ミニチュア ガーデンアート～」

対象・定員：どなたでも 10 名
(3 歳以下のお子様は、保護者と一緒に参加してください。)
参加費：無料

内 容：

樹脂粘土で好きな色・形の花を制作し、
その花をモルタルの器にアレンジし、自
分だけのミニチュアガーデンアートを制
作します。



作品サンプル

参加申込：2 月上旬より専用フォームにて受付
(詳細は、2 月に発行する募集チラシや置賜文化
フォーラム HP でご確認ください。)



置賜文化フォーラム
HP の二次元コード

AMO2025
関連事業
予告

AMO2024 大賞展

八頭こほり 遠く に あり て

八頭さん自身によるギャラリートークのほか、ゲストをお呼び
して、八頭さんの作品を深堀できるような対談、来場者の皆さん
と八頭さんが交流できるミニ企画など、大賞展がさらに楽しくな
るようなイベントを計画中です。お楽しみに！

ギャラリートーク

八頭さんによる作品への想いや制作背景などを展示室内でお話し
いただきます。

ゲストトーク

八頭さんとゲストによる対談を予定！
八頭さんの作品の魅力、その画風の変化のいきさつなどを深堀します。

ミニ企画

3 月 8 日 (土)、15 日 (土) いずれも午前中
八頭さんと来場者の皆さんが交流できるミニ企画を八頭さんとともに
検討中。



開催中

椿貞雄と米沢の画家たち② 没後70年 志賀三郎

令和7年1月22日(水)まで



志賀三郎
「夕映えの草道」1922 (大正 11)

志賀三郎(1897～1954)は、米沢出身の洋画家です。

1920年に米沢中学(現 米沢興譲館高校)を卒業後、上京して川端画学校で森田恒友に師事し、その後は春陽会など中央美術界で活躍しました。1926年には椿貞雄を中心とした米沢の画家たちによる美術団体「七涉会」に参加しています。1932年以降は公募展への出品は見られなくなりますが、晩年まで制作活動は継続していました。

今回は、様々な舞台で活躍した志賀三郎の静物、風景画を中心に、新たに博物館に収蔵された晩年の作品も展示しています。落ち着いた色彩を用いて、自然の風景、ものを丁寧に描き出す志賀の優れた観察眼、色彩感覚をご覧ください。

オープンギャラリーでは、米沢市上杉博物館の収蔵品からテーマを設定し、小展示を開催しています。



次回予告

椿貞雄と米沢の画家たち③

生誕120年 高瀬捷三

令和7年1月24日(金)～4月23日(水)



高瀬捷三
「磯による」1961-22」1961 (昭和 36)

高瀬捷三(たかせしょうぞう 1904～1980)は、志賀三郎と同じく米沢中学の出身で、椿貞雄に師事し、椿を通して岸田劉生や武者小路実篤とも交流を持った画家です。初期には椿貞雄の影響の強い静物や風景を描きますが、戦後は神奈川県藤沢市にアトリエを構え、海辺の情景や「磯の幻想」と題した幻想的な作品を残しました。オープンギャラリーでは博物館収蔵作品から10点ほどを紹介합니다。

ART topics 米沢市上杉博物館で好評開催中!

企画展 椿貞雄と草土社の画家たち

会 期: 令和7年1月13日(月・祝)まで

休館日: 12月以降毎週月曜、年末年始(12/27～1/1)

椿貞雄の画家としての基盤を作り上げた「草土社」の活動を中心に、武者小路実篤ら白樺派の作家たちとの濃密な関わり、そして大正期の熱気あふれる文芸運動のあり様を実感できる展覧会です。椿貞雄の作品は初期から最晩年までの代表作が揃います。



白磁の質感を余すところなくとらえた「壺(白磁大壺に椿)」はファンも多い作品です。

椿貞雄「壺(白磁大壺に椿)」1947年

市民ギャラリーについて

当ギャラリーは、市民の皆様の美術作品の発表及び鑑賞、市民文化の交流の場として利用しやすい施設を目指しています。芸術文化活動の拠点として、また、様々な芸術文化に親しめるギャラリーを皆様と共に育んで参ります。

自主事業では、4つのコンセプトを念頭にオープンギャラリーの展示、企画展等を行っています。

- 米沢市上杉博物館と連携した展示
- 米沢市ゆかりの作家の作品展示
- 魅力ある企画展示
- 市民ギャラリーの利用促進や、市民の皆様の芸術文化に寄与する展示

ARTS
MEET
OKITAMA
だより冬号 VOL.9
202412



▲ギャラリー HP QR



▲ギャラリー・公式 X QR

発 行: よねざわ市民ギャラリー(公益財団法人米沢市上杉文化振興財団)

〒992-0045 米沢市中央 1-10-6 TEL 0238-22-6400 FAX 0238-26-0036

問合せ: 伝国の杜 米沢市上杉博物館 TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660

